２　地理歴史・公民

学校番号	１０８

平成３１年度　公民科

教科	公　民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	1
使用教科書	高校現代社会　新訂版（実教出版）						
副教材等	最新図説現社（浜島書店）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日々グローバル化が進む中で、他者との共存は避けて通れない世の中となりました。自分と違う思想・宗教・生活習慣をもつ人たちとともに生きていくためには、現代社会で起きている様々な問題・その背景を知る必要があります。私たちが日々過ごしている生活は普遍的なものではなく、様々な人・事象により変動するものです。自分の身の回りのことに興味を持ち、新聞・雑誌・テレビ・ネットなどから情報を収集する力を身につけてください。「知ろうとする姿勢」をもつことこそが、実社会での対応力を身につけるための第一歩です。

２ 学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自らの人間としてのあり方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間の関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようする態度と平和で民主的なより良い社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ、現代社会に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題として人間に関わる事柄を見出し、社会的事象の本質や人間としてのあり方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方をふまえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、資料を正確に読み取る力や効果的に活用する力を身につけている。	現代社会の基本的問題と人間の在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、レポート等）	定期考査 行動の観察 （発表等の評価）	定期考査 記述の確認及び分析 （レポート）	定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	地球環境を考える	・地球環境問題 ・地球環境問題への取り組み ・資源・エネルギー・人口問題	○	○	○ ○	○	a:地球環境問題や資源エネルギー問題に対する関心を高め、その現状などについて意欲的に追求しようとしている b:地球環境問題に対する国際的な取組みの現状と課題につて関連資料を活用しながら、多面的に・多角的に考察し、幸福・正義・公正などの観点を踏まえて、適切に表現している c:地図や統計資料などを収集・活用し、情報を適切に選択しながら、地球環境問題や資源エネルギー問題の現状などを正確に読み取る力 身につけている d:地球環境問題と資源エネルギー問題に関連する総合的な知識を身につけている	定期考査 レポート
	現代の国家と民主政治	・人権保障の発展と現代社会 ・国民主権と民主政治の発展	○	○	○	○	a:民主主義の本質や現代政治の特質を意欲的に追求しようとしている b:国民主権を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な性質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で表現している c:現代政治の特質に関する情報を収集し、適切に活用できる d:民主政治の基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている	定期考査 レポート
二学期	日本国憲法と国民生活	・日本国憲法の成立 ・平和主義と日本の安全 ・基本的人権の保障 ・人権の広がり	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:主権者として憲法成立過程と基本的人権、平和主義の内容を意欲的に追求しようとしている b:人権問題、安全保障の問題を多面的・多角的に考察し、根拠と考察を様々は方法で表現している c:人権や安全保障の問題の時事的な資料を収集し、適切に活用できる d:憲法が普遍性を持つことに気づき、人権が生まれながらの権利であること、他者の権利を尊重することを理解し、知識を身につけている	定期考査 レポート
三学期	国際政治の動向	・国際政治における政治と法 ・国家安全保障と国際連合 ・冷戦期の脅威と冷戦後の脅威 ・軍備競争と軍縮 ・異なる人種・民族との共存 ・国際社会と日本	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:国際政治への関心が高まっている b:国際政治の課題を多面的。多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している c:国際政治の時事的事象の情報を適切に選択し、活用している d:国際政治を理解し、その知識を身につけている	定期考査 レポート

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現

c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。